

かつしか 区議会だより

第1回定例会

2月	19日	本会議（議案の付託等） 予算審査特別委員会
	20・22日	常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
	25日	議会運営委員会
	26日	本会議（代表質問・一般質問） 議会運営委員会理事会
	27日	本会議（一般質問、議案の議決等）
3月1～7・11日		予算審査特別委員会
	12～15日	常任委員会（保健福祉、建設環境、文教、総務）
	18・21・22日	特別委員会（地方分権・行革、危機管理 対策、都市基盤整備）
	26日	議会運営委員会
	27日	本会議（議案の付託、議決等） 常任委員会（総務、保健福祉） 特別委員会（危機管理対策） 議会運営委員会

主な内容 2・3面…代表質問 3・4面…一般質問 5～7面…予算特集 8面…可決された議案ほか

NO.214 平成25年（2013年） 4月25日発行 葛飾区議会 〒124-8555 葛飾区立石5-13-1 ☎3695-1111 FAX 5698-1543



立石さくら通り

平成25年度予算が成立

北朝鮮の核実験を強く 非難する決議を可決

今回の定例会では、区長の長提出議案37件と、北朝鮮の所信表明を受け、5会派からの代表質問と、8名の議員から核実験を強く非難する決議など、議員提出議案9件が可決された。また、平成25年度葛飾区一般会計予算をはじめとする区一般会計予算が採択された。

可決された決議・意見書（要旨）

今回の定例会では次の決議1件、意見書6件を可決し、関係機関に送付しました。（件名の下の分は意見の分かれた意見書です。各会派の賛否は8面に掲載）

北朝鮮の核実験を強く非難する決議

北朝鮮は、国際社会の制止を振り切り、2月12日に3回目の地下核実験を強行した。このことは、我が国の安全に対する極めて重大な脅威であり、北東アジア及び世界の安全保障や平和を脅かす深刻な事態である。我が国は、世界で唯一の被爆国であり、とりわけ本区は、「非核平和都市宣言自治体」として議会と区が一体となり、非核平和関連事業を数多く展開し区民にその実現を訴えるとともに、いかなる国の核兵器に対してもその廃絶と、すべての核実験の禁止を求めた。よって、北朝鮮の核実験に対し強く非難するとともに、北朝鮮がただちにすべての核兵器及び核計画を放棄することを厳に求める。また、日本政府においては、国際社会と緊密に連携して、北朝鮮に対する新たな制裁措置など具体的な行動を起こすことを強く求める。

建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書

アスベスト（石綿）を大量に使用したことによるアスベスト被害は、多くの労働者や国民に広がり、現在でも建物の改修や解体に伴うアスベストの飛散が続いている。また、東日本大震災で発生した大量のカレキ処理についても被害の拡大が心配されている。よって、国会及び政府に対し、アスベスト被害拡大の根絶と被害者への救済、そして、今後長期間にわたる対策が課題とされるアスベスト問題の早期解決を強く求める。

中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書

政府に対し、次の事項について早急な対策を講じるよう強く求める。①全国的な中小企業支援ネットワークの整備とともに、認定支援機関の整備を図るなど総合的かつ、きめ細かい経営支援体制の充実を図るとともに、中小企業への周知徹底、フォローアップに万全を期すこと②地域の金融機関のコンサルティング能力及び支援体制を強化し、中小企業の経営改善を図ること

ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書

政府に対し、次の事項について適切な措置を講じるよう強く求める。①ブラッドパッチ療法の治療基準を速やかに定め、平成26年度に保険適用とすること②「脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究」を平成25年度以降も継続し「診療ガイドライン」の早期作成とともに、子どもに特化した研究及び周辺病態の解明を行なうこと③脳脊髄液減少症の実態調査を実施し、患者・家族に対する相談及び支援体制を確立すること④ブラッドパッチ療法に関する「先進医療」認定施設を各都道府県に最低1カ所設けること

軽度外傷性脳損傷者に関する労災認定基準の改正などを求める意見書

政府に対し、次の事項について適切な措置を講じるよう強く求める。①軽度外傷性脳損傷のために働けない場合、労災の障害（補償）年金が支給されるように、労災認定基準を改正すること②労災認定基準の改正にあたっては、不正防止のため、画像に代わる外傷性脳損傷の判定ができる、神経学的検査法を導入すること③軽度外傷性脳損傷について、国民をはじめ教育機関への啓発・周知を図ること

東京都の大气污染防治医療費助成制度の継続を求める意見書

東京都に対し、次の事項の実施を強く求める。①国、自動車メーカー及び首都高速道路株式会社に対し、平成26年度以降の制度継続に必要な財源を拠出するよう働きかけること②国に対し、大気汚染公害患者に対する医療費救済制度を創設するとともに、道路沿いなど汚染の激しい地域に保障制度を創設するよう、働きかけること

海洋資源の発掘と早期の実用化を求める意見書

政府及び東京都に対し、メタンハイドレート並びに重レアアースの実用化を強力に推進するため、次の事項を実施するよう強く求める。①現在行われている採掘事業以外に、メタンハイドレートが存在する可能性のある他の海域でも採掘が開始できるように予算措置を行うこと②外交・経済・産業のことも踏まえて、南鳥島沖の重レアアースを早期に活用できるように、調査費及び、採掘技術の研究への予算拡大を行うこと③採掘技術を中心とした人材の確保や産学連携を強化し、民間投資を促す国家的プロジェクトとして、事業の安定化に資する予算措置を行うこと

政治家の寄附は、禁止されています。また、暑中見舞等時候の挨拶状（答礼のための自筆のものを除く）を出すことも禁止されています。

議員等政治家が、お祭り、親睦旅行会、会合などの行事に寄附や差し入れ等をしたり、お祝い金（出産・新築等）、贈り物（お中元・お歳暮等）をすることは、公職選挙法により罰則をもって禁止されており、要求した人も罰せられます。

区政を聞く 代表質問(要旨)

自由民主党議員団

協働の視点で防災対策の強化と調和のとれた街づくりの推進を

財政運営
問 国が予算化した約1兆4千億円の「地域の元氣臨時交付金」を積極的に活用すべきと思うが、考えを伺う。
答 防災・減災事業をはじめ、区民の安心・安全、元氣活性化などの事業に役立てるため、最大限活用していきたい。

公共工事の契約等
問 入札辞退多発の原因として、資材の高騰は影響しているのか。また、工事期間中の経費の上昇など、区はどのような対応をするのか。
答 不調・不落の理由として、建設資材の高騰も原因の一つと考えている。契約後の資材価格の急激な変動や、長い工期での賃金水準または物価水準を中心に予算案をまとめた。

葛飾区議会公明党

基本計画のスタートにあたり区の方性をあらためて問う

平成25年度当初予算案など
問 予算案伸び率1.5%の意図と予算配分について区の見解を伺う。
答 経営改革の取組みや財政調整交付金の増などから確保できた財源を、保

新基本計画における10年間の財政フ
問 今後の都市基盤や公共施設の更新の考え方について区の見解を伺う。
答 総量抑制を図りつつ施設を更新していくことが必要である。施設の長寿命化、適切な維持管理の実施、防災機能の強化なども含め、地域の実情をふまえた施設更新計画を、区議会や地域の皆様と議論し理解を得ながら作成する。

新基本計画
問 基本構想の将来像「水と緑ゆたかな

葛飾区議会公明党

自殺対策のより一層の取り組みと家庭から始める地球温暖化対策を

自殺・うつ対策
問 パソコンや携帯電話を使うこと、ネットチェックできるシステムを導入すべきと思うがどうか。
答 受診や相談のきっかけづくりには有効であり、システム導入を検討する。

防災訓練
問 シェイクアウト訓練の導入を要望する。区の見解を伺う。
答 シェイクアウト訓練の導入を要望する。区の見解を伺う。
答 ボランティア団体や事業者などと連携し実施時期や方法を検討する。
※他の質問項目 総合防災訓練 など

準の著しい変動には、状況を調査確認して工事契約約款に基づく契約価格の変更を検討する。

新基本計画
問 5つの「減災協働プロジェクト」のスケジュールを伺う。
答 それぞれの事業には計画期間を定めているが、特に緊急防災3か年プロジェクトの学校避難所の機能強化、公共施設の防災機能の強化、防災意識の啓発、緊急耐震プロジェクトの民間建築物耐震診断・改修助成は3か年で目標を達成する計画とした。

高齢者支援策
問 (仮称)シルバード援手チケット事業を導入してはどうか。
答 高齢者向けの事業全般の分析を行い、財政負担を勘案しつつ、使い勝手を含めて工夫・検討をする。

高層ビル支援策
問 高層ビル支援策の早期実施を強く要望するが、区の見解を伺う。
答 災害時の復興活動の基幹となる区の啓開道路のうち、バス路線を対象に空洞化調査費を新年度予算に計上したこの調査結果を活用し、道路の適正管理に努める。

今後の行財政運営
問 職員の能力向上と組織力の強化を図った上で、将来の本区の行政規模

廃食用油再生利用促進事業
問 使用済み食用油の再生利用の取り組みについて伺う。
答 区内に設置予定の拠点で回収した廃食用油をバイオディーゼル燃料に再生し、燃料としての活用をめざす。

橋梁の維持・更新
問 区が管理する橋梁の現状と、修繕の前倒し実施について区の見解を伺う。
答 現在、小松橋を修繕中であり、今後奥戸橋や堀切避難橋などを順次行う。前倒し実施の精査も行い対処する。

学校での動物の飼育を通して子どもたちに心の教育を
問 小学校の飼育小屋の環境整備の考え

自由民主党議員団

街づくり

問 金町駅北口の区が購入したスイミングスクール跡地の活用について伺う。
答 既存の駅前広場などの拡充に繋げ、土地の高度利用や個性的・魅力的な都市空間の形成を図る。



JR新小岩駅南口

新小岩駅の南北自由通路の整備が街
問 新小岩駅の南北自由通路の整備が街づくりに与える影響について伺う。
答 新小岩駅南北の歩行者動線が変わり、南口や北口の街が賑わい、商業などの活性化が図られることを期待している。

保健所の取り組みと予算措置
問 区民の健康は保健所が守る一との積極的な姿勢で長寿健康社会の構築を図る必要があると思いがどうか。
答 4千人規模だった職員数が昨年4月には3千人を下回った。現在策定中の行革実行プログラムの推進により、平成28年4月には2千900人規模になると見込んでいる。

問 区民の健康は保健所が守る一との積極的な姿勢で長寿健康社会の構築を図る必要があると思いがどうか。
答 今年度実施した健康実態調査に基づき「仮称 健康かつしか21」を作成する方針である。区民の健康を守るために効果的な事業は、国庫補助金などの有無に関わらず事業展開していく。



保健所(健康プラザかつしか内)

産業見本市開催事業
問 出展企業の選定基準について伺う。
答 成約の見込みのある企業を中心に選定することも必要と考える。基準は関係者などと協議・検討し作成していく。

民主党 葛飾

医療環境の充実と防災対策

葛飾区前期実施計画案財政フレーム
問 人口流入と政策の相関関係
問 今回示された財政フレームの考え方について区の見解を伺う。
答 現行制度が存続することを前提にして積算しており、今後区財政に影響を及ぼす財調制度の変更や税制改正など十分に注視していく。

医療環境の充実
問 成人病3疾患やリハビリテーションへの対応は喫緊の課題である。医療環境の向上を目指して、医療機関の誘致を進めていくべきかどうかが。
答 成人病3疾患への対応は、重要な課題であること認識している。来年度には、1号整備やソフト事業の充実などあらゆる面から効果的な施策を検討していく。



都立墨東病院

環境問題
問 PM2.5の状況及びデータの提示や知識の提供を様々な広報媒体を通じて行うべきかどうかが。
答 国や都の動向を受けホームページ上でアクセシブルな情報に配慮する必要がある。行政コストを上げる努力を行うべきではないか。

日本共産党葛飾区議会議員団
区民の暮らしを守る区政への転換を
来年度予算
問 政府の生活保護費削減計画に反対意見を表明すべきかどうかが。また、非課税世帯、就学援助受給世帯に影響のないよう区制度を充実してはどうか。
答 生活保護の目的は国民の最低限度の生活保障と自立助長であり、国民の消費水準との均衡を図ることは制度の趣旨に沿ったものであり反対意見を表明する考えはない。また、生活扶助見直しの具体的な内容が不明で、本区制度への影響が分からず、制度充実の必要性を検討する状況にない。



新宿地区センター

基本計画の11のプロジェクト
問 教育施設基金積立をルール通りに行うべきではないか。また、学校教育

地域政党 葛飾

平成25年度予算における区の方、取り組みについて

平成25年度における区の方、取り組みについて
問 平成25年度予算は、区民の暮らしや家計の現状について、どのような認識に立ち編成したのか。
答 中小零細企業が多い本区は、国の緊急経済対策の効果が見られるまで一定の時間がかかる。前期実施計画初年度の予算編成は、動きやすい環境づくりに資する保育所や学童クラブの設置、経済的負担軽減のための学校給食費の助成や私立幼稚園入園料助成、また高齢者施策の特別養護老人ホーム整備費助成、介護予防事業などの重点施策に財源を配分した。



保育園で遊ぶ園児たち

公共施設のあり方
問 基本計画の財政フレームにおいて、「公共施設の効果的・効率的な活用」

地区図書館の設置
問 小宮・堀切・南綾瀬の地区図書館は早急に開設すべきかどうかが。
答 地域の力をお借りするなど、学校の実情に応じて検討する。



奥戸地区図書館(平成23年4月2日開設)

子育て支援
問 平成25年度からの予防接種について区の方を伺う。
答 接種費用の半額程度を助成しているヒト、小児用肺炎球菌ワクチンが全額公費助成となり普及が進むと考える。区医師会をはじめ関係機関と調整を図るとともに区民周知に努める。

用サイトを開設しているが広報紙など他の媒体の活用も検討していく。
※他の質問項目 測定結果公表

公共交通
問 公共交通体系の整備方針、特にバス路線について取り組む必要があると考えかどうかが。
答 バスを中心とした区内全域をふくんだ交通の在り方について、地域特性に応じた課題を分析抽出し、今後公共交通に係る具体的な計画の策定を検討していく。

防災対策及び減災協働プロジェクト
問 葛飾区耐震改修促進計画において平成27年度までの目標達成のため今後どのような施策を考へていくのか。
答 助成制度を多くの区民が利用されるよう積極的に区の広報紙やホームページで案内し、地域団体や建築士、工務店などと連携を図り、説明会や戸別訪問を実施し建築物の耐震化促進を図るよう努めていく。

葛飾の教育を大津市の第三者調査委員会調査報告書について
問 大津市のいじめ自殺事件の第三者調査委員会の調査報告書について、どのような認識を持っているのか。
答 調査報告書によると、いじめと自殺の因果関係が明確になり、教員がその状況を認識していたが適切な措置をとらず、事態が明らかになった後の学校と教育委員会の対応についても問題があったと認識している。大津市の事例や過去の事例について十分に学び、本区にいじめ問題への対応に活かしていきたいと考えている。

放射線対策
問 放射線に関する危機感を風化させないために、どのような手段で情報を発信し、啓発していくのか。
答 広報紙やホームページ、ツイッターや安全安心メールで放射線情報をお知らせし「わたしの便利帳」に放射線の基礎知識を掲載した。持ち込み食品検査の結果は区民事務所などで閲覧できる。国や他自治体の新たな情報は、適時適切にお知らせする。

自由民主党議員団
地域安心安全
※他の質問項目 水害対策
問 水害対策として近隣自治体とのように連携を図っていくのか。
答 市川市と松戸市と災害時における相互支援に関する協定を締結した。

フードフェスタ
問 食のフレンド化について、通年的に商工会議所や区商連、観光協会と協働PRをしてはどうか。
答 区内で製造される食料品や飲食店の情報発信は賑わい創出に有効であり、フードフェスタの開催に合わせて実行組織の中で検討したい。

答 区民事務所とサービスコーナーの受付カウンターを改修して、プライバシーや、高齢者、障害者の方に配慮したレイアウトにしていく。

京成押上線の連続立体化と立石駅周辺の街づくり

問 連続立体交差事業の進捗状況を伺う。答 都と区、京成電鉄の3者で事業を進めている。京成電鉄による用地取得が駅前再開発予定地域を除いて9割を超えた。残る物件も粘り強く交渉を続けている。

※他の質問項目 立石駅周辺再開発

奥戸一丁目の「鬼塚」

問 現状で一部を開放するなど、活用方法はどうか。



奥戸一丁目「鬼塚」

答 引き続き遺跡調査が必要であり、調査の進捗に合わせて地元町会や教育委員会など関係部署と協議し、暫定開放の可能性を検討していく。

※他の質問項目 整備スケジュール

民主党 葛飾

防災対策準備は生命財産を守るために必要不可欠

災害対策

問 水害時の避難行動を分かりやすく、また、一時避難施設なども見やすい形式で示していく必要があると考えるが区の見解を伺う。答 平成25年度に大規模水害時における区民の避難行動を分かりやすく解説

する(仮称)水害避難ガイドを作成し、全戸配布する。

堀切菖蒲園駅周辺のまちづくり

問 堀切菖蒲園駅を中心とする地域について東京都の10年プロジェクトにより木密解消を図るべきだがどうか。



京成線堀切菖蒲園駅

答 プロジェクト活用メリットを感じている。26年度中に密集事業の国の承認を目指し検討を進めている。

※他の質問項目 目に見えるまちづくり など

他の質問項目 大学との連携、空き家の適正管理

効果的・効率的な施設更新と在宅ケアの構築を

効果的・効率的な施設更新と公共サービスの充実

問 公共施設の更新を進めるにあたり、統廃合などで財源確保に努め、子育て支援の充実に向けてはどうか。答 施設更新を着実に実施して、生み出した財源は子育て支援施策の実現のために活用していく。

※他の質問項目 子育て支援施設の整備方針 など

地域包括ケアシステムの現状と課題

問 医療が必要な高齢者や重度の要介護高齢者について、可能な限り在宅で生活ができるように支える仕組みはどのようになっているか。

答 病院から在宅への円滑な移行を進める検討をしている。また、葛飾区医師会が行う認知症に関する研修を多くのかかりつけ医が受講できるように医師会と連携していく。

※他の質問項目 ケアシステムを実現するための5つの視点の進捗状況と課題 など

日本共産党葛飾区議会議員団

住民の安全・安心を実現する区政の強力な推進を

特別養護老人ホーム 問 待機者のうち死亡が70人、不明者が102人にもなっている。高齢者の孤立死が社会問題となった3年前を思い起こすが区長はどう受け止めるか。答 死亡者などについては、特養ホームから個別に連絡し、確認の上、入所者名簿から除いたものである。

※他の質問項目 訪問職員配置 など

保健センターのあり方 問 サービス向上のためには、保健師の増員が必要と思うがどうか。答 保健師の集約とあわせて、既存事業を見直すことにより、新しいサービスの向上が実現できると考えており、保健師の増員は考えていない。

※他の質問項目 金町保健センターの建て替え時の保健所機能追加 など

ワクチン接種 問 ヒブワクチン、小児用肺炎球菌、子宮頸がんワクチンが国の財源で無料となるよう求めるべきと思うがどうか。答 3ワクチンについては来年度から定期予防接種となる見込みと聞いている。定期予防接種費用は全額区が負担しており、費用負担のあり方については、東京都のみならず特別区長会から国に要望書を提出している。

放射線対策 問 東京都に水元公園の放射線測定・除

染を改めて強く要請すべきであり、都がやらないのであれば、区が直接対策を講じるべきと思うがどうか。答 放射線量の測定や除染等の対応については東京都が行うべきと考えている。区民からの要望については、今後も引き続き東京都に伝えていく。

※他の質問項目 基準の見直し など

公共交通網の拡充

問 子どもからお年寄りまで安心できるまちづくりに資するため、調査基準を変更し、交通アクセスの再調査をすべきと思うがどうか。

答 公共交通網の拡充は、まちづくりの重要な課題であり、調査基準を変更し、交通アクセスの再調査をすべきと思うがどうか。

花いっぱいのもちづくり 問 花畑の空間として児童遊園を活用すべきと考えるが区の見解を伺う。答 希望する団体と覚書を結び、公園22園、児童遊園3園で空きスペースを花壇として草花を育てている。今後も身近な場所ですべて区民と協働して取り組んでいく。

※他の質問項目 河川敷の花畑 など

減災協働プロジェクト 問 5つのプロジェクトを災害対策における主要課題とした理由は何か。答 首都直下型地震発生が危惧されている状況において、防災・減災対策を強化するため新基本計画の重要プロジェクトの一つとして位置づけた。

問 荒川区で着手する「永久水利事業」を緊急防災3か年プロジェクトの一環として取り入れてはどうか。答 荒川区で着手する「永久水利事業」を緊急防災3か年プロジェクトの一環として取り入れてはどうか。

地域政党 葛飾 区民一人ひとりが将来に希望が持てる事業展開を

基本計画の実現に向けた組織体制 問 公共施設の見直しを推進するための組織体制について伺う。答 24年度に設置した公共施設の効果的・効率的な活用に基づく各所管課の取り組みの調整や連携を担う特命担当課長が引き続き全体調整を行う。

※他の質問項目 効果的な組織整備と組織運営 など

基本計画と協働 問 区民や事業者等との協働における特

無所属(※3)

区民一人ひとりを思いやる区政の推進を

震災時における災害時要援護者対策 問 視覚・聴覚障害者、妊産婦、人工透析患者などの災害時要援護者対策の現状と課題、今後の方向性を伺う。答 視覚障害者には音声電話、聴覚障害者には電子メールなど、情報伝達システムを平成25年度から導入し、妊産婦には学校避難所の生活環境が比較的良好的な場所を提供し区内産婦人科医などと連携を図る。人工透析患者には被災を免れた区内外の医療機関で透析ができるよう調整を図る。要援護者カード、安心カートの携帯を呼びかけていく。

本区の学校教育 問 本区の体罰の現状を伺う。答 体罰は学校教育法で禁止されている。体罰は教員の指導の未熟さを露呈し、学校の信頼を大きく失う。現在、児童・生徒や教員あて調査を実施しているが、事故報告はない。

※他の質問項目 いじめ対策 など

児童虐待 問 虐待通報の方法と件数の推移を伺う。答 児童虐待通報相談専用の電話回線を設置し、関係機関からの情報は子ども総合センターで受ける。件数は、平成22年度131件、23年度147件、24年度12月現在136件と、高い水準で推移している。

※他の質問項目 児童相談所と区の連携 など



「ウェルピアかつしか」での防災訓練

問 5つのプロジェクトを災害対策における主要課題とした理由は何か。答 首都直下型地震発生が危惧されている状況において、防災・減災対策を強化するため新基本計画の重要プロジェクトの一つとして位置づけた。

問 荒川区で着手する「永久水利事業」を緊急防災3か年プロジェクトの一環として取り入れてはどうか。答 荒川区で着手する「永久水利事業」を緊急防災3か年プロジェクトの一環として取り入れてはどうか。



河川水利を利用した消火訓練

問 荒川区における検討状況を踏まえながら、区全体として消防水利の確保について検討する。答 荒川区における検討状況を踏まえながら、区全体として消防水利の確保について検討する。

※他の質問項目 街づくり事業との関連 など

予算審査特別委員会

平成25年度予算を審査

2月19日の本会議において、平成25年度各会計予算案6件を審査するために、37名の議員で構成する予算審査特別委員会が設置されました。

予算案は、3月1日の予算審査特別委員会においての総括質疑の後、4分科会で詳細に審査され、11日の予算審査特別委員会において、各分科会長から審査経過の報告を受けた後、各会計予算の採決を行い、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定、3月27日の本会議において可決されました。

平成25年度予算の概要

各会計予算

	金額	対前年度増減比
一般会計	1,717億円	1.5%
国民健康保険事業特別会計	533億4,500万円	△1.4%
後期高齢者医療事業特別会計	83億9,100万円	3.1%
介護保険事業特別会計	299億8,600万円	4.7%
用地特別会計	54億5,880万円	△40.8%
駐車場事業特別会計	7億2,470万円	8.4%
合計	2,696億550万円	△0.1%

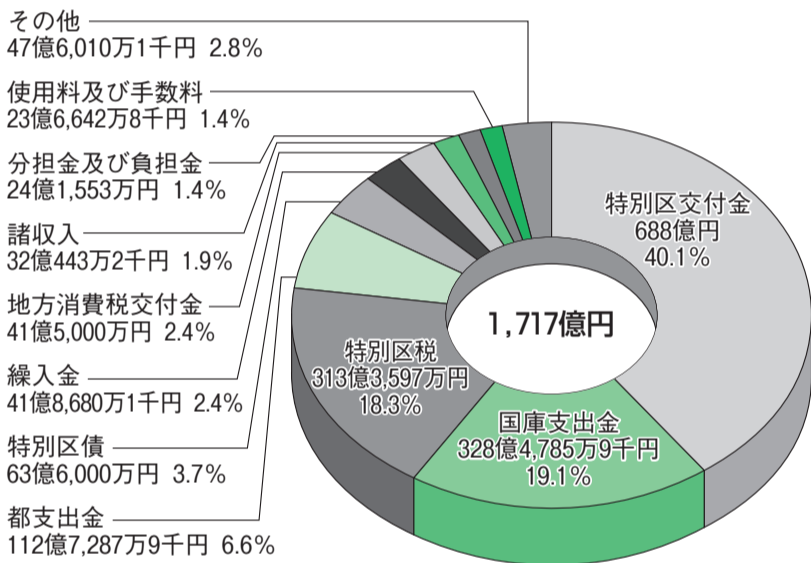
区民一人当たりの予算額（一般会計）

高齢社会、健康づくり等、福祉と衛生に	149,402円
生涯学習の支援や小中学校の運営などに	33,008円
災害対策や地域活動、文化振興などに	38,429円
道路・公園整備やまちづくりに	33,435円
清掃事業や環境対策に	11,549円
中小企業に対する融資など産業経済に	7,892円
常勤職員の給料等に	59,530円
特別区債の償還などに	9,056円
国民健康保険・介護保険事業などの繰り出しに	39,544円
合計	381,845円

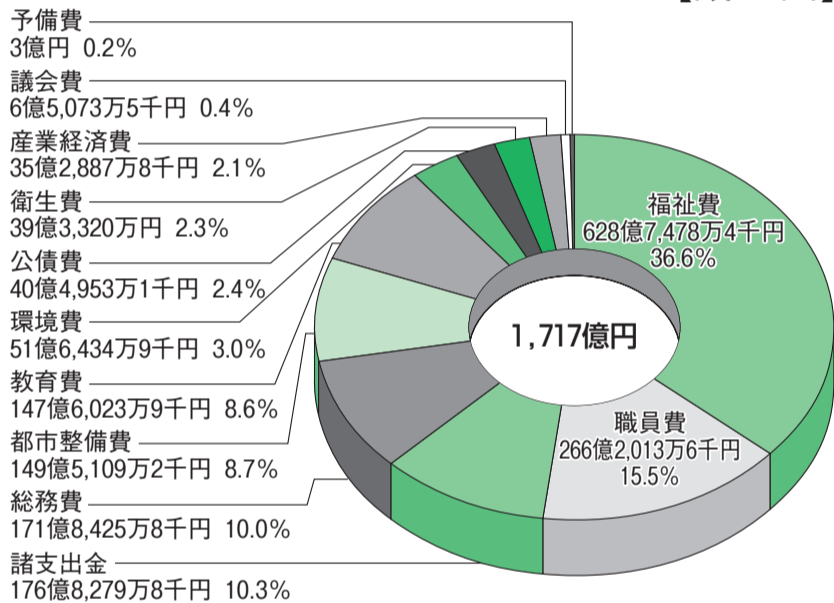
人口は447,170人（平成25年1月1日現在）から算出し、合計には、予備費等が含まれていません。

一般会計

【歳入】



【歳出】



※その他は繰越金など。

※四捨五入しているため、構成比の合計は100%になりません。

平成25年度予算に対する各会派の意見

この面から7面までに、平成25年度予算に対する各会派の意見を掲載しました。

葛飾区議会公明党

誇りあるふるさと葛飾の実現へ
基本計画の着実な執行を

平成25年度から10年間にわたる新基本計画を策定し、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向け取り組んでいることは大いに評価します。新基本計画の初年度となる平成25年度予算編成は、歳入面では特別区税の増、財調交付金の大幅な増が見込まれ、一般会計予算額1,717億円、前年度比1.5%の伸び率で、5つの特別会計を合わせて、総予算額2,696億550万円で編成されました。歳出面では、防災・減災の観点から道路の空洞化調査の予算化や、多子世帯への経済負担を軽減する第3子の給食費無料化など、わが会派の主張が予算措置されたことなど、区民ニーズに合った着実な予算編成となっており評価します。以下、予算の各款項ごとに、我が会派の意見提案を述べます。

総務費 草の根の平和外交を進めることとなる大韓民国などの友好都市提携への推進を求めます。プロポーザルを含めた入札制度の見直し、来庁した区民に分かりやすい接遇の取り組み、災害時の不測の事態を想定した情報通信の複線化を求めます。ワークライフバランス応援事業は時宜に合ったものであり評価します。災害時に活用効果の高いヘリサインを公共施設に整備することを要望します。都や他区の動向を参照にした保養施設提供事業の見直しを求めます。「身近なクラシック」コンサートの回数拡充と広報活動の充実を求めます。

産業経済費 葛飾区認定製品販売会、中小企業勤労福利共済事業の更なる拡充、フィルムコミッション事業の中で撮影スポットを集めた「葛飾百景」などの施策を要望します。フードフェスタ事業では幅広い年代層が楽しめる工夫を求めます。

福祉費 災害時要援護・障害者の安心カドは、日常生活の中で活用しやすいものとなるように望みます。また、

医療的ケアの必要な人を受け入れる老人保健施設の実施検討を望みます。認可保育園の着実な開設による待機児童の減少を評価します。夜間保育の継続的な運営、家庭福祉員（保育ママ）拡充への取り組みを要望します。成年後見制度推進事業では、平成26年度の「成年後見センター」の設置にむけ、総合センター職員のリベルアップと、区民向けの入門講座の受講促進を望みます。先進的介護予防事業のうんどう教室事業とプラチナ・フィットネス事業について評価します。

衛生費 保健センターなど区民サービスの向上を考えて、施設のあり方についての検討を望みます。

環境費 緑と花のまちづくり事業経費については、地域の人材の育成や活動の支援を要望します。粗大ごみ受付業務では、電話回線増設など利便性の向上を評価します。エコプラザでのリサイクル家具販売事業のさらなる拡充を望みます。緑化推進事業経費については、推進と保全の観点から予算措置と制度設計をすよう求めます。

都市整備費 金町駅、新小岩駅、立石駅、高砂駅など駅周辺の街づくりでは、地域の声を大切にしながら、着実な取り組みを求めます。荒川土手などを活用した葛飾の魅力ある創出を求めます。

教育費 教職員の精神的ケアの拡充を要望します。旧学校施設については、地域の要望により、一部活用されていますが、今後は地域の持つ特性や隣接のエリアまで広げた公共施設の計画となるよう体制強化を要望します。スクールカウンセラー派遣事業費については、いじめや不慮の事故などの発見が迅速に行われるよう要望します。小学校費では、通学路の緊急合同点検によって指摘された危険個所の早期解消を求めます。ICT活用授業推進費では、教員1人に1台のコンピュータの設置、各教室へのICT環境の整備を進めるとともに、ICTサポート員の増加を望みます。

各特別会計についてはこれを了とし、事業の適切な執行を望みます。

自由民主党議員団

区民ニーズに即した積極的な事業展開を望む

平成25年度予算は歳入面で、たばこ税の税源委譲による特別区税の増や、法人住民税等の原資の増による財調交付金の大幅な増を見込み、一般会計予算が1千700億円という過去最大規模の枠組みを確保している。その中で平成25年度を初年度とする前期実施計画に掲げる事業に対し予算を効果的に配分しており評価する。今後さらに区民のニーズを的確に捉え、区長が提唱する「夢と誇りあるふるさと葛飾」を積極的に推進するよう以下意見を述べる。

総務費 公共施設建設基金積立金について、公共施設の改修は応急処理が多く長寿化につながっていない。将来的な財政運営上も大きな課題なので根幹となる考えを持つと共に積立金の増額を要する。民間建築物耐震診断・改修事業経費では助成対象の件数が倍増しているのを受け、診断と設計が可能なら設計事務所と十分な施工能力のある工事業者の確保に努め、迅速な耐震改修の実施を望む。戸籍住民基本台帳費では、住民票・印鑑証明の発行等の窓口業務で待ち時間の短縮等、住民サービスの向上を求める。

産業経済費 フードフェスタの開催を年に1回に限らず、様々な条件を考慮の上、検討していただきたい。地域産業振興会館運営委託では、指定管理者のノウハウをうまく引き出し、地域産業の活性化を要する。

福祉費 24時間365日対応の児童虐待通報電話受付は、新規事業として評価するとともに、その成果を期待する。保育園の公設民営化や給食の民間委託などの行政の合理化の一層の促進を求める。生活保護は、国において保護基準の見直しが検討されているが、社会のセーフティネットとしての制度そのものの信頼を損なうことがないように事務を進めていただきたい。

衛生費

区内医療環境の充実に向けて、より積極的な取り組みを望む。保健センターの統合計画については、公共施設全体の配置や修繕計画を明示して、区民の理解を得られるよう適正に進めていただきたい。予防接種事業は国の動向に注意を払い、円滑な移行に努められたい。

環境費 花いっぱいまちづくりを評価する。なお、実施にあたっては、駅などの人目につき所を重点的に行うとともに、個人で協力していただける方のプランターや鉢が通行の妨げにならないよう、併せて広報することを望む。太陽光発電は区民の関心も高まっているが、設置数が増えるよう進めていただきたい。清掃費では、資源持ち去りパトロールを実施しているが、持ち去りが無くなっているため、さらなる工夫を求める。

都市整備費 金町駅北口周辺街づくりにおいて、東京理科大学葛飾キャンパスがオープンすると、駅名や歩道などの交通環境の整備に不安が残るので整備を進めていただきたい。街路灯のLED化は大きい評価する。今後は幅員10m、12m道路についても研究を進めていただきたい。

教育費 学校用務員雇上経費は委託と非常勤を組み合わせ、きめ細かくよりのコスト意識を持って事業実施に努められたい。体力向上科の導入にあたっては、教員の実技研修会を充実させ教員の指導力向上を強く要望する。旧小学校の校舎については、利用計画をつくり活用を考えるよう要望する。理科教育設備整備補助金が大幅に増額されたので、これを積極的に活用し設備の充実を図るべきである。学校地域応援団は、子どもたちのより良い教育環境につながるため、今後もしっかりと取り組まされたい。葛飾区民としての自覚を促すため、はたちのついで出演者には、区内出身者や区内住者を積極的に起用することを望む。給食費の未納については、他の事例を参考に100%の回収を望む。

日本共産党葛飾区議会議員団

区民アンケートなどの住民要望に取組み切実な要求を実現

東日本大震災と原発事故から丸2年が経過しました。犠牲になられた方々とご家族・関係者の皆さんに哀悼の意を表します。

二〇一三年度予算では、住民の皆さんと日本共産党葛飾区議会議員団が求め続けてきた不況対策資金融資の改善、民間建築物耐震診断・改修助成の拡充、認可保育園や学童保育クラブの増設、ヒブ、小児用肺球菌の予防接種の無料化、学校給食の一部無償化が予算化されるなどの切実な要求が実現しました。

一方で、特養ホームに入りたいと待機する高齢者が、1千40人にもなり、80人が入所できずに亡くなったたりするなど、一刻も早く解決しなければならぬ問題も残されています。

教育施設整備積立基金は、リール通りの積み立て、総合庁舎整備基金に15億円、公共施設建設基金に32億円の積み増しを行いました。ところが住民合意のない立石駅北口、金町駅南口開発には湯水のように血税を注いでいます。

大型開発優先の一方で、くらし・福祉切り捨ての計画は見直すべき

二〇一三年度から4年間の前期実施計画の大きな特徴は2つある。計画事業の中で78.7%が街づくり関連事業、医療・健康・福祉分野はわずか7.5%であることである。

まさに開発優先、区民のくらしを守る施策は後回しの計画です。低所得者対策の計画事業がないのがわが党の指摘に対しても、「計画事業になじまない」と冷たく切り捨てています。

民主党葛飾

行政サービスの向上を前提とした各種施策の推進を

平成25年度予算案の審議にあたり、私達民主党葛飾は、今後の区の公共施設の在り方や、それに伴う財源の確保した基本計画における重要施策の具体的な中身についてなど、区民の皆様と同じ目線に立って、行政サービスの向上を図るよう様々な議論いたしました。

総務費 総務管理費の公共施設建設基金について公共施設の建て替え更新経費が基本計画期間の10年で160億円、計画終了後以降の10年間で161億円と大規模な財源が必要となる。基本計画期間の中で、将来世代への負担となる起債の考え方や計画のな積立計画の検討を求め、公共サイン再構築支援委託費はサイン本来の機能に防災、観光福祉の概念を取り入れ、区民、来訪者の視点に立ったユキキタやユニバーサルデザインを考慮したサインの構築整備を求め、区内医療環境検討の構築整備委託費は患者の受療流出、成人3大疾病の対応、ベッド数、救急医療等の医療環境は満足するものではない。区長のリーダーシップの下、改善に向けて全力で対応していただきたい。

産業経済費 中小企業、若者マッチング支援事業経費は広報を充実し、多くの若者が活用できるようにしていただきたい。

福祉費 社会福祉費の企業内就労訓練事業指導員派遣費助成は、更なる拡充を求める。成年後見制度推進事業経費は、市民後見制度入門講座の開催や成年後見センター設置準備について評価し、今後裁判所との連携を要望する。高齢者福祉費の在宅高齢者福祉事業は、高齢者自立支援住宅改修費や高齢者住宅設備改修費助成を評価する。シルバーピアや高齢者向け優良賃貸住宅供給事業等高齢者の住まいについて、組織横断的な連携を要望する。児童福祉費の(仮称)保育マスペース整備費助成は、民有地の活用なども含めて拡大

衛生費

区内医療環境の充実に向けて、より積極的な取り組みを望む。保健センターの統合計画については、公共施設全体の配置や修繕計画を明示して、区民の理解を得られるよう適正に進めていただきたい。予防接種事業は国の動向に注意を払い、円滑な移行に努められたい。

環境費 花いっぱいまちづくりを評価する。なお、実施にあたっては、駅などの人目につき所を重点的に行うとともに、個人で協力していただける方のプランターや鉢が通行の妨げにならないよう、併せて広報することを望む。太陽光発電は区民の関心も高まっているが、設置数が増えるよう進めていただきたい。清掃費では、資源持ち去りパトロールを実施しているが、持ち去りが無くなっているため、さらなる工夫を求める。

都市整備費 地下鉄8・11号線及び環七高速度鉄道建設促進経費において、事業化に向けて沿線住民の機運の醸成や関係自治体との連携・協力を継続強化するよう望む。街づくり費は、新小岩駅周辺開発整備事業経費において最新の情報開示をまちづくり以外も含めた課題にも取り組むよう求める。密集住宅市街地整備促進事業経費は、財政上の支援と執行していくための人的投入など厚みをもった制度拡充策を求める。青砥駅前広場用地借上料は、景観・美観対策を求め、

教育費 学校用務員雇上経費は委託と非常勤を組み合わせ、きめ細かくよりのコスト意識を持って事業実施に努められたい。体力向上科の導入にあたっては、教員の実技研修会を充実させ教員の指導力向上を強く要望する。旧小学校の校舎については、利用計画をつくり活用を考えるよう要望する。理科教育設備整備補助金が大幅に増額されたので、これを積極的に活用し設備の充実を図るべきである。学校地域応援団は、子どもたちのより良い教育環境につながるため、今後もしっかりと取り組まされたい。葛飾区民としての自覚を促すため、はたちのついで出演者には、区内出身者や区内住者を積極的に起用することを望む。給食費の未納については、他の事例を参考に100%の回収を望む。

地域政党葛飾

復興需要と地域の優先課題を的確に見極めた予算編成を

平成25年度予算案は、復興需要に支えられた増収としての傾向も含め、恒久的、安定的なものではないことを認識する一方で、この機会を本区の更なる基盤づくりに活用するために優先的かつ重要課題を精査し、より一層の経営改革を望む。

総務費 地域防災計画の見直しは東京都の計画の踏襲ではなく、本区の地域事情を前提に作成された。学校避難所整備はマンホールトイレ設置に止まらず、地域別被害状況に副った消火救助、救命など優先順位の高い選択肢を広げられたい。

区民費 40を超える事業は、全体計画を基として個別計画を策定された。公共施設は「7つの生活圏域」を中心とし、災害拠点としての地域の事情を十分に斟酌して総合計画を策定された。

産業経済費 中小企業情報ネットワークを活用した災害時BCPを策定された。フィルムコミッション事業は区内の映画監督など、更なる調査と発掘をされたい。

福祉費 少子高齢社会が進展する中、柔軟かつ適切な対応を望む。成年後見制度は本来あるべき姿として家族の協力を最大限得ることが重要。介護予防事業は基礎的なスキルとして救急法・指導法を習得したりリーダー育成に努められたい。さらに総合型地域スポーツクラブとの協働・連携を確立された。災害時要援護者となる高齢者・障がい者への共助を徹底された。子育て支援施設は新しい施設整備方針に則り、早急に進められた。福祉関連施設の維持更新は、公共施設の全体計画を早急に策定した上で、地域バランスを考慮し保育施設のように個別の事情を勘案した計画を策定された。

衛生費 保健センター配置計画の再考を求める。行政サービスのあり方、生活圏に配慮した計画にすべき。原発

無所属(※1)

夢と誇りあるふるさと葛飾の実現に向けた新基本計画

本区の将来像や基本目標を実現するための総合的かつ基本的な計画を作成したのが「葛飾区新基本計画」です。その初年度となるのが、この平成25年度予算案です。青木克徳区長がかかげる基本計画の理念「夢と誇りあるふるさと葛飾の実現」に向けての第一歩の予算案として編成されたことに対しては期待しています。

総務費 この4月に開学する東京理科大学の人材・技術のノウハウをしっかりと学び、本区の産業振興に繋がるよう望みます。また、金町駅からの人の流れを商業にも生かしてもらいたい。

福祉費 障害乳幼児早期療育体制の整備、小児生活習慣病予防検診、児童虐待通報電話受付事業などの取り組みについては評価します。成年後見制度の普及・利用の促進、支援体制の強化をすることに大いに期待をしています。

衛生費 保健センターについて、業務終了後に、直通ダイヤルしても留守電のないため、不便を訴えている区民が多いので工夫を求めます。また、整備計画の見直しを求めます。

環境費 「生物多様性かつしか戦略」については、自主的に先導できる担い手の育成を求めます。

都市整備費 東京都の計画道路の買収や建設の着工までの作業については人と財源が不可欠です。ぜひ、全庁あげての取り組みに期待します。

教育費 学力向上プランの推進、学校施設の整備等に積極的に取り組まされたい。新教育長の手腕が大いに期待をします。

国民健康保険事業特別会計 近年、不納欠損金が多額になっているようです。更なる工夫と努力を求めます。

介護保険事業特別会計 要支援・要介護の前の方たちに対しての事業を積極的に取り組んでほしい。これその他の特別会計に対しては、これを子として事業の適切な執行を望みます。

無所属(※2)

税金のムダづかいを止めて防災や福祉の充実をはか

混乱する世界経済の下、また、東日本大震災の天災、原発事故という人災肉親を失い、住居や田畑を奪われ、職を失い、被災者は全国を未だに流浪している。復興、復興と掛け声だけ大きくても何一つ実のあるものはない。この様な混沌とした中で編成された葛飾区の新年度予算は、相も変わらず時代感が全く欠如したままであり、全くマンネリ化したものであって、今日の役には立たない。東京を直下型地震の発生が予測されているとき、暮末安政の大地震では、西亀有が震源地であると指摘されているにもかかわらず、改めの防災対策が立てられておらず、これでは45万人区民は枕を高くして寝てはられない。

その立場から見ると、直下型大地震が東京を襲うとか富士山が大爆発するといふテレビや週刊誌・新聞などの報道を見たとき、葛飾区の防災対策は何ら現実を即したものは一つもない。しかも、これらの火急の問題をなおざりにしたまま、葛飾区役所の現庁舎を新築移転することに区議会や区民に語ることもなく、もちろんその合意を得ることもなく、約20億円の建設費を計上して、これから10年以内に京成電鉄立石駅北口に区画整理を強行し、そこに高層ビルを新築してこれを新葛飾区役所庁舎にあてようとしている。このため、既に3年前から区役所新築費用として毎年15億円の公費の積み立てをしてきた。

これを取り巻く一部の人々と区議会の中の区民側近派といわれる人たちがけの密談で、区政本拠であり、防災活動の根拠地である区役所庁舎を軽々に移転すべきではない。

これは、議会や区民を無視した暴挙であり、我ら時宜にかなった適正予算を求める。

無所属(※3)

区民の視点に立った活力ある区政運営を

東日本大震災から2年を経過したものの、いまだ避難生活を強いられている方々や亡くなった方々のごを察すると耐えがたい気持ちに駆られるのである。また、経済を優先として取り組んできた我が国の原子力事業は、子どもたちにとって最悪の脅威となっていました。また、平成25年度の予算案については、区民の視点に立つて編成されたものと高く評価するものである。以下各項目につき、意見・要望を述べます。

総務費では、区制施行80周年を迎えたことを契機に葛飾区史を編纂すること、とても意義のあることと期待する。一方庁舎建て替えについては、中・長期的に着実に取り組んでいただきたい。産業経済費では、区内産業人材育成支援事業については、区内の中小企業者の技術・技能・知識等を習得し、かつ人材育成のための支援は評価する。福祉費では、障害者就労支援事業は、年々成果を出しているのだからに期待する。また、災害時要援護障害者支援の安心カードは、災害時にあっては不可欠であり、評価する。衛生費では、75歳の高齢者を対象とした長寿歯科健康診査や「かつしか糖尿尿病アクションプラン」の各事業は、今後の本区の医療と健康の推進のため、極めて重要である。よって、高く評価し、期待するものである。一方、地域健康づくり事業は、区民の健康づくりのため、区と自治町会等とが協働し育成支援するもので評価する。環境費では、生物多様性健全の新規事業については、子ども達の育成や区民全体にとって夢の持てる事業であり、実現に向け取り組んでいただきたい。都市整備費では、歩道勾配改善事業は、高齢者や障害者等が安全、快適に暮らすために不可欠である。教育費では、葛飾学力伸びプロジェクトの推進や、子ども体力向上プロジェクトに期待する。

予算審査特別委員会委員長報告(要旨)

予算審査特別委員会は、平成25年度各会計予算について審査を行うために2月19日の本会議において、37名の議員を構成委員として設置されました。当委員会は、詳細な審査を行うために第1から第4までの4つの分科会を設置しました。

各分科会の審査事項は、第1分科会が一般会計予算のうち、議会費・総務費・産業経済費及び職員費を、第2分科会が福祉費及び都市整備費を、第4分科会が環境費及び都市整備費を、第4分科会が教育費、公債費、諸支出金、予備費並びに各特別会計予算を所管しました。

3月1日の委員会では、総括質疑を実施し、10名の委員から区政運営全般について、多角的かつ大局的な観点に立つて質疑が交わられました。

また、3月4日から7日にかけて、各分科会を開催し、所管事項の審査を行いました。審査が終了し、各分科会長から報告書が提出され、3月11日に、当委員会は、各分科会長から審査経過及び各会派からの意見の報告を受けました。

その上で、付託議案6件について順次採決を行い、「平成25年度葛飾区一般会計予算」、「平成25年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算」、「平成25年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算」、「平成25年度葛飾区介護保険事業特別会計予算」、「平成25年度葛飾区用地特別会計予算」は、いずれも賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次の定例会は6月開催予定です

可決された議案等

議案名下の(分)は意見の分かれた議案(各会派の賛否は下欄 参照)

【区長提出議案等 37件】

予 算

▼平成25年度一般会計予算(第8号) 8件

▼平成25年度国民健康保険事業特別会計予算(第9号) 1件

▼平成25年度後期高齢者医療事業特別会計予算(第10号) 1件

▼平成25年度介護保険事業特別会計予算(第11号) 1件

▼平成25年度用地特別会計予算(第12号) 1件

▼平成25年度駐車場事業特別会計予算(第13号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第5号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第4号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第3号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第2号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第1号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

▼平成24年度一般会計補正予算(第0号) 1件

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の改正に伴い、区立の都市公園における移動等円滑化に関する基準を定める。

▼一部を改正する条例 19件

▼区議会政務調査費の交付に関する条例 1件

▼地方自治法の改正に伴い、政務調査費の名称を改めるほか、所要の改正をする。

▼個人情報保護に関する条例 1件

▼国営林野の有する公益的機能の維持増進を図るための国営林野の管理経営に関する法律等の一部を改正する等の法律の施行に伴い、規定の整備をする。

▼区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例 1件

▼区議会議員の議員報酬の額を改める。

▼区議会等の求めにより出頭する者等の費用弁償に関する条例 1件

▼地方自治法の改正に伴い、費用弁償の対象となる参考人等の範囲を改めるほか、所要の改正をする。

▼区長等の給与等に関する条例 1件

▼区長及び副区長の給与の額を改める。

▼教育委員会教育長の給与等に関する条例 1件

▼教育長の給与の額を改める。

▼監査委員の給与等に関する条例 1件

▼常勤の監査委員の給与の額を改める。

▼事務手数料料率 1件

▼都市の低炭素化の促進に関する法律の制定に伴い、低炭素建築物新築等計画認定申請手数料等について定めるほか、所要の改正をする。

▼地域コミュニティ施設条例 1件

▼青戸中央集い交流館及び新宿地区センター小会議室を廃止する。

▼障害福祉サービス給付認定審査会の委員の定数を定める条例 1件

▼障害者自立支援法の改正に伴い、規定の整備をする。

▼障害者福祉センター条例 1件

▼障害者福祉センターの施設に自立訓練事業所を加えるほか、所要の改正をする。

▼地区計画及び防災街区整備地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例 1件

▼新宿六丁目地区計画の区域内における建築物の制限を改める。

▼区営住宅条例 1件

▼区営住宅の駐車場の使用者に係る資格要件を拡大するほか、規定の整備をする。

▼「特別区道」道路占用料等徴収条例の整備をする。

▼区立公園条例(分) 1件

▼都市公園法の改正に伴い、区立の都市公園の設置基準等を定めるほか、所要の改正をする。

▼区立小菅東スポーツ公園、小菅西公園及び間栗公園条例(分) 1件

▼公園の占用料の額を改めるほか、規定の整備をする。

▼自転車駐車場及び自転車置場条例(分) 1件

▼西井堀第四自転車駐車場(西新小岩一丁目1番4号)を拡張する。

▼職員の退職手当に関する条例(分) 1件

▼職員の退職手当について、民間との較差を是正するとともに、在職期間中の職務・職責に応じた貢献度をより一層反映させるほか、所要の改正を行う。

▼国民健康保険条例(分) 1件

▼保険料率を改めるほか、所要の改正をする。

▼水元体育館電気設備工事請負(分) 1件

▼水元体育館給水衛生設備工事請負(分) 1件

▼水元体育館空調設備工事請負(分) 1件

▼水元体育館空調設備工事請負(分) 1件

▼水元体育館空調設備工事請負(分) 1件

▼水元体育館空調設備工事請負(分) 1件

人権擁護委員の任期満了に伴う候補者の推薦に関する意見 1件

▼人権擁護委員法第6条第3項の規定により、議会の意見を聞く。(区長推薦に異議なし)

【議員提出議案 9件】

▼意見書名の下(分)は意見の分かれた意見書(各会派の賛否は下欄参照)

▼一部を改正する規則 1件

▼区議会会議規則 1件

▼地方自治法の改正に伴い、規定の整備をする。

▼区議会委員会条例 1件

▼地方自治法の改正に伴い、常任委員の所屬及び委員の任期を定めるほか、所要の改正をする。

▼北朝鮮の核実験を強く非難する決議 1件

▼建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書 6件

▼中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書 1件

▼ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書 1件

▼軽度外傷性脳損傷者に関わる労災認定

結果の出た請願

請願名下の(分)は意見の分かれた請願(各会派の賛否は左欄参照)

▼建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国への働きかけを求める請願 2件

▼H24青戸八丁目地区築堤護岸工事についての請願 1件

▼高砂団地建替後の跡地に特別養護老人ホームの建設計画を求める請願 1件

▼危険管理対策特別委員会の委員構成が次のように変わりました

○委員長 荒井 彰一

○副委員長 清水 孝一

○委員 小川 次郎

○委員 倉沢 よう次

○委員 中村 千秋

○委員 石田 真吾

○委員 米山 真吾

○委員 渡辺 キヨ子

○委員 黒柳 じょうじ

○委員 丸山 銀一

○委員 丸山 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

○委員 筒井 孝一

意見の分かれた案件

件名	議決結果							
	公明(11)	自民(11)	共産(5)	民主(5)	葛飾(3)	無※1(1)	無※2(1)	無※3(1)
平成25年度葛飾区一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度葛飾区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度葛飾区駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度葛飾区後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度葛飾区介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度葛飾区用地特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度葛飾区一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○
葛飾区議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
葛飾区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
葛飾区立小菅東スポーツ公園、小菅西公園及び間栗公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
葛飾区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○
高砂団地建替後の跡地に特別養護老人ホームの建設計画を求める請願	×	×	○	×	×	○	×	×
ブラッドパッチ療法の保険適用及び脳脊髄液減少症の診断・治療の推進を求める意見書	○	×	○	○	○	○	○	○
軽度外傷性脳損傷者に関わる労災認定基準の改正などを求める意見書	○	×	○	○	○	○	○	○

公明=葛飾区議会公明党、自民=自由民主党議員団、共産=日本共産党葛飾区議会議員団、民主=民主党葛飾、葛飾=地域政党葛飾、無=無所属

定基準の改正などを求める意見書 1件

○委員長 荒井 彰一

区議会だよりに記載の会派等の構成議員をお知らせします

会派名	構成議員名
葛飾区議会公明党	荒井 彰一、上原 ゆみえ、牛山 正夫、上村 やす子、くぼ 洋一、黒柳 じょうじ、小山 たつや、藤 初夫、出口 よしゆき、丸山 銀一
自由民主党議員団	秋本 とよえ、秋家 聡、安西 俊一、梅沢 五十六、倉沢 よう次、小坂 進、筒井 孝一、新 秀男、平田 みつよし、中村 けいこ
日本共産党葛飾区議会議員団	おりかさ 明実、中江 秀夫、中村 しんご、三小田 准一、渡辺 キヨ子、うてな 英明、くげ しげる、佐藤 ゆうだい、中村 けいこ、米山 真吾
地域政党葛飾	大高 たく、工藤 きくじ、清水 忠
無所属(※1)	池田 ひさよし
無所属(※2)	石田 千秋
無所属(※3)	むらまつ 勝康

広報委員会 委員長 梅沢 五十六

次の「かつしか区議会だより」は7月発行予定です